

ご卒業によせて

卒業によせて

PTA会長 吉本 與史一



我が子らよ！我々も共に卒業です！卒業生の皆様、おめでとうございます！高校生活は、ご自身の想像以上に己を成長させた尊い3年間だったのではないのでしょうか？私自身、一人の親として強烈に実感しております。お陰様で、我が子の著しい成長に伴い、それに反比例して親への依存度が低下していく様を垣間見、成長を喜ぶ一方で寂しさを覚えるという複雑な経験もさせていただきました。だから、皆様の卒業は、ある意味、我々親にとっての卒業でございます。どこかで惜しむ我々の手を振りほどき、どうぞ大空へ羽ばたいてください！我が子のイキイキ・キラキラし

た姿、それだけが望みです。「ちょっとだけ待って」という言葉を踏み殺して、遠くなる背中に手を振り続けます。ただ、忘れてないでいただきたい。もしも、皆様が飛ぶのに疲れて後ろを振り返っても、我々はそこに居ます。これからの人生は間違いなく1000%楽しくて充実したのですが、ただ、それに気づくのに時間がかかる場合もあります。瞬間的には逃げ出したくなる事もありますから。だから、常に我々が後ろで構えている事を理解しつつ、安心して進んでください。皆様が前を向けば背中を押し、振り向けば迷いなく抱きしめます。最後に、校長先生をはじめ、先生方におかれましては、我が子らに伴走し続けてくださり本当にありがとうございます。先生方が費やして下さったお時間やお手間は投資でございます。彼ら彼女らは、いつか立派に活躍し回収してくれると信じます。我が子が、この教高を選んでくれた「ご縁」に、深く深く心から感謝とお礼を申し上げます。

自律力の発揮を期待

校長 山本 泰弘



PTA会員の皆様には、日頃から本校教育活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

さて、昨夏の甲子園では「エンジョイ・ベースボール」が旋風を巻き起こしました。その姿を見て、MLBシアトルマリナーズのイチロー氏が、2019年の最後の「イチロー杯」で、子どもたちに次の言葉を贈っていたのを思い出しました。それは、「厳しく教育するのが難しくなっている中学校、高校、大学。社会人になる前に経験する時間、そこで「自分自身を自分で鍛えて

ほしい」ということがすごく大事だと思います。厳しく教えることが難しい時代に、誰が教育をするのかというと、最終的には、自分で自分のことを教育しなくてははいけない。そういう時代に入ってきたんだなというふうに思います。」という言葉です。この言葉は、コロナ禍を経てさらに深く子どもたちに突きつけられています。学校だけでなく社会人においても同様です。予測困難な時代を生きていく卒業生の皆さんは、今後さらに自らを厳しく律し、努力を重ねる姿勢が必要になってくるでしょう。おそらくイチロー氏はそうした思いを前述の言葉で子どもたちにエールとして送ったのではないのでしょうか。厳しく教えられなくなった時代だからこそ、自分自身を客観的に分析し、自律する力が一層求められます。本校の校訓は「自主自律」。本校で培った自律力を今後の新たなステージで発揮してくれることを期待しています。

新たな航海

進路支援部長 永田 学



平素よりPTA活動を通して、本校の教育活動にご支援・ご協力賜り、ありがとうございます。

昨今、進路に関する変化は著しい状況が続いております。大学等の入試においては、出願方法の多様化や総合的な思考力を問う問題の出題など、これまで以上に多角的な準備が求められています。令和4年度の厚生労働省のデータによると、就職に関しては高校新卒者の求人倍率が3.49倍と高水準であり、求人数は10年前の約2倍まで増加しています。このように社会変化の著しい状況下で、私たち進路支援部では最新の情報提供ととも

に一人ひとりに合った進路支援を行い、お子様が自身の将来に向けて最善の選択をすることを支援して参りました。

保護者の皆様には、これまでの長い間、お子様の進路実現のために、絶えずご支援とご理解を賜り、誠にありがとうございました。卒業は一つの終わりであり、同時に自らの手で航路を定める新たな始まりでもあります。お子様はこれから、自分自身の羅針盤を手に、未知の海へと船出します。希望と挑戦の象徴とされる甲辰の年に巣立つ皆さんが、自らの道を判断し、その道を勇敢に歩む決断力を持つことができますよう、そして新しい世界での成功と幸せをつかまれますよう、心から祈っております。

卒業式を迎えた後も、引き続き進路支援を行います。お子様が納得のいく未来を手にするために、教職員一同、最後まで力を尽くして参りたいと思います。